

両市の絆を深めた交流

8年ぶりの公式訪問

小沢昌記奥州市長を団長とする総勢16人の公式訪問団（うち一般参加者12人）が平成27年10月1日から3日にかけて、オーストラリアの姉妹都市グレートシエパートン市（以下、シエパートン市）を訪れました。この訪問は、19年に取交わした姉妹都市交流計画に基づくものです。8年ぶりとなるシエパートン市への訪問は、基幹産業である農業や酪農の現状視察、

震災の影響で実施が見送りとなったシエパートン市公式訪問団の受け入れについての協議、21年から毎年続いている中学生海外派遣事業の受け入れに対するお礼や一般参加者の交流を目的に実施しました。

到着の歓迎を受け 昼食会で交流

オーストラリアは南半球に位置するため、日本とは季節が真逆。訪問時は初夏を迎える時期で、最高気温は30度を

①宿泊先ホテルでの昼食会。(左奥から)シエパートン市のサマー副市長、パターソン市長
②正装して歓迎夕食会に臨む市公式訪問団の参加者たち ③シエパートン市から贈られたタペストリー ④羽田恵子在メルボルン日本国総領事を中央に、夕食会出席者全員で記念撮影 ⑤本市から贈呈した襦袢及精鑄造所の南部鉄器の鉄びん ⑥くす玉のほかに「希望」と書いた書を手渡しパターソン市長と握手を交わす渡邊香音さん ⑦食事時は公式訪問の参加者同士でも話が弾み交流が深まった



歓迎夕食会では 記念品を贈呈

シエパートン市主催の公式訪問団歓迎夕食会には、パターソン市長をはじめとするシエパートン市関係者のほか、国会議員や州議員、在メルボルン日本国総領事など数多くのゲストも参加し盛大に開かれました。夕食会では、訪問団の及川敬さん、智恵子さん夫妻（襦袢及精鑄造所）提供の南部鉄器を本市からシエパートン市へ、

先住民族アボリジニのタペストリーをシエパートン市から本市へそれぞれ贈呈。パターソン市長の歓迎スピーチでは、30年を超える姉妹都市の絆が今日まで続いていることへの感謝と、訪問団が遠路はるばる訪れたことへの喜びが語られました。

小沢市長は、東日本大震災に対する支援と中学生海外派遣団の受け入れへの感謝とともに「両市の絆を記念樹のように大きくたくましく育んでいきたい」と今後の交流への期待を述べました。

訪問団の渡邊香音さん（南都田小6年）が、クラスメイトと一緒に作成した折り紙のくす玉をパターソン市長らに手渡すと「心から感激した」と感謝の気持ちを香音さんに伝えていました。

奥州市への思い入れが強いと語るジェニー・フリーハン前市長や、30年前の第1回公式訪問の参加者で、以後数回奥州市を訪れているというグイネス・トレヴァアスキス氏などが、訪問団と日本について熱く語らうなど、終始笑顔の絶えない会になりました。



田面木 茂樹 教育長
人が大らかで町もゆったりとしていて、心のゆとりを感じました。奥州市の中学生が貴重な経験を積んでいる場所を訪れることができ、良かったです。人の温かさや多民族国家ならではの協調性などを、多くの子どもたちに経験してほしい。異文化に触れることが新しい発見や感動につながる。シエパートンからの受け入れも実現させたい。



奥州市胆沢区 **渡邊 尚子** さん **香音** さん
普段話することがないような人たちと一緒に旅ができ本当に良かったです。娘を身内のように可愛がってもらい感謝しています。シエパートンのきれいな街並みや人々の優しさを全身で体験し、娘の成長につながったと感じます。いつか再び訪れた時に「私たち知り合いなんです!」と呼べる人ができたのは素晴らしいことですね。



襦袢及精鑄造所 **及川 敬** さん **智恵子** さん
初めてのオーストラリア。終わりの見えない果樹園、生乳を運ぶ巨大なタンクローリー車、大規模な設備など、そのスケールに驚きました。進呈した南部鉄器をずっと飾ると言っていたので感慨深いです。普段の旅行では体験できない視察や多くの交流が、公式訪問の魅力であり、大切なこと。この交流は続けるべきと強く感じました。



グレートシエパートン市 **フェーン・サマー** 副市長
折り紙や浴衣など、日本の文化を実際に見たり、奥州市の皆さんとお話できたりとても楽しいです。私以外の家族全員が日本へ行ったことがあり、ずっと行ってみたいと思っています。いここが日本人と近々結婚する予定。結婚に招かれるのを期待しているので、その時は奥州市にもぜひ訪れたいです。



グレートシエパートン市 **ジェニー・フリーハン** 前市長
奥州市の皆さんとお会いするのがとても楽しみにしていました。今回、相原正明前市長からのプレゼントまでいただき感謝しています。8年前に皆さんをお迎えしたり、2年前には夫と一緒に奥州市を訪れたり、奥州市への思い入れは個人的にもとても強いものです。この交流は今後もずっと続けていきたいですね。



ムループナー中学校 **ゲイリー・フレッチャー** 校長
異文化の相互理解や交流は、視野を広げてくれます。中学生受け入れはとても重要で、さらに積極的な交流を展開したい。自校からも奥州市へ生徒を送り出したいのですが、費用が課題でなかなか実現に至らず心苦しく思っています。香音さんからもらったくす玉には本当に感激。校長室に大切に飾って、毎日眺めながら仕事します。

Interview

Interview